



高槻ロータリークラブ

2020~2021

WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

- I. 真実かどうか
- II. みんなに公平か
- III. 好意と友情を深めるか
- IV. みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急 6 階
 TEL 072-683-1158 FAX 072-683-1174
 URL <http://www.takatsukirc.org/>
 E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 例会場 高槻阪急 6 階 多目的ホール TEL 072-684-5379

創立 1954年6月15日

会長 井前憲司 幹事 内本繁 クラブ運営委員長 長山正剛 会報担当副委員長 坂野信一

No.39 2021年5月19日 発行

5月は青少年奉仕月間

◎臨時休会のお知らせ

- ・大阪府への緊急事態宣言の期間延長を受け、5/19(水)・26(水)の例会は休会とさせていただきます。6/2(水)以降の例会につきましては、改めてご連絡申し上げます。

◎皆出席表彰に該当の会員の皆様へ

- ・この度は、おめでとうございます。4月度皆出席表彰のお祝いのお品(図書カード)は、ご自宅へ郵送させていただきます。ご了承いただきますようお願い申し上げます。

4月度皆出席表彰

西田 直弘君	連続 36年
川面 智義君	通算 13年
本多 了君	通算 5年

◎会長メッセージ

大阪は現在緊急事態宣言下にあります。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。現役の方は黙々と日々の業務に邁進されておられ、そうでない方はそれなりに有意義な時間をお過ごしになっておられると思います。

さて、新型コロナ関連ですが5月の連休明けから、にわかに関係してきた観があります。今までは大阪・東京エリアでの緊急事態とその周辺のまん延防止でしたが、ここに来ていわば森林火災のように周辺に飛び火して日本中が火災を起こしかけているのではと感染地図を見ても感じます。いわば「新」新型コロナが猛威を振るってきていると言って良い状況です。

この「新」新型コロナは、コロナのRNAのうち約4300のmRNAの塩基の転写ミスから起こっており、現在問題になっているのは、呼吸器官等に多いACE2タンパクに反応しやすく(感染率が高い)、人体の免疫システムを回避する(重症化リスクが高い)、40代50代でも罹患する割合が高いなどの特徴が有ると言われています。こうしたウイルスの火を消すのは、当然ワクチンを圧倒的多数の方に実施し、集団免疫を獲得してコロナウイルスを寄せつけない環境にしていくことに尽きるはずで、ところが5月中旬のワクチン摂取率は数%程度です。これでは延焼していく大火をコップの水をかけて消している状態です。もう精神論では限界があるでしょう。ちなみに接種が進んでいる欧米では、行動制限の緩和が始まっています。バイデンさんは、接種終了者はNoMaskでOKと言っています。ドイツでは接種完了者の行動制限はかなり緩和されてきており、外食・公演等OKになりつつあります。こうして、医療技術の駆使で、今は恐ろしいコロナを今後は充分手懐けていける可能性が現に証明されてきています。そこでも少し気になっているのは、「新」新型コロナは、若年・中高年でも感染し、短時間で重傷化し、場合によっては死亡する割合が増えている事実に対して、新型コロナ時代に立てた高齢者優先接種が良かったのかどうかです。私も充分高齢者の仲間で予約が取れずにうろたえています、がしっかりと活動すべき年齢層にまず接種して社会や経済を支えていかないと、モラルに訴えた拡大防止策では実効性がなく世界に更に遅れていくのではと危惧しています。大きな船の舵は急には切れないのかも知れませんが、この感染の拡大を見るにつけ、じれったい思いがしています。一方、連日コロナ関連死者が報じられていますが、目立たない数字があります。自殺者数です。20年度では約2万人です。当然コロナの影響も大

ロータリーは機会の扉を開く

ホルガー・クナーク RI会長

コロナ禍で隠れてしまっている自殺とコロナ死との違いは、コロナ死は理不尽な、断じて望んでいない中での死という違いがあります。現在医療崩壊と言われるように多くの医療者が共に戦っていますが、免疫暴走の勢いが強く結果亡くなっています。ここで、自死数は2万人ですが、経済的にあるいは精神的に困っておられる方はおそらく更に2桁多くいるのではないのでしょうか。困窮している大人の影で、声を上げる術を持たない児童がいることにもロータリアンとしては関心を向けなければいけないのではないのでしょうか。幸い地区提案で、コロナ禍にあって実活動が出来にくい各クラブに対して、金銭面での支援もあるのではという呼びかけはこの時期に即しています。何が出来るか、共に考えていきたいと思えます。これで会長の時間を終わります。

◎幹事報告

- ・本日はございません。

◎委員会報告

○国際奉仕委員会

馬淵 晴彦

- ・5/10(月)にメールもしくはFAXにてご案内致しましたが、地区国際奉仕委員会よりニュースレター第5号が届いております。今年度は年6回の発刊を予定しており、次号が最終号となるそうです。宜しくお願致します。

○クラブ研修委員会

藤井 敏雄

- ・ロータリーの友5月号推薦記事
 1. 特集「あなたのエールで輝く若人」

5月は青少年奉仕月間です。特集記事では、米山奨学生のアブデルアール・アハメドさん、グローバル奨学生で、カンボジアの医療センターで働く川合菜月さんの活動が紹介されています。高槻ロータリークラブは青少年の育成に力を入れた奉仕活動を行っています。是非、目を通してください。
 2. 「子どもたちの健やかな心を育む」

人の赤ちゃんは、他の動物に比べて未発達のまま生まれてくるので、大人になるまでの育て方が重要との事です。身体的な成長は良くケアできますのですが、自閉症など精神的な未発達の問題は、注意深く観察し愛着を持って接する事で、大半が軽快するようです。青少年育成について医学的な面から語られており、一読をお勧めします。
 3. アニメ「ポール・ハリスとロータリー」

ロータリー活動は職業奉仕として出発しましたが(アーサー・シェルドン)、人道奉仕の重要性を唱え、養護施設を造り世間の評価も高まりました(エドガー・アレン)。しかし、職業奉仕を唱える人々との間で、議論を二分するに至りました。やがて収束するのですが、10年にもわたるロータリーの歴史として重要な時代が描かれています。
 4. 「視点 ガバナーのロータリー・モメント」

簡仁一2660地区ガバナーの記事があります。

